

職員の資質向上と職場(組織)づくり

国立大学法人九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行

1. ゲームを通じて考えるチームのチカラ

(1) ワーク: 「貿易ゲーム」

(2) 振り返り

■ 問い: 「ゲームを通じて感じたことで
あなたの職場でも起こりうることは何でしょうか」

2. いっしょにやる、ということ

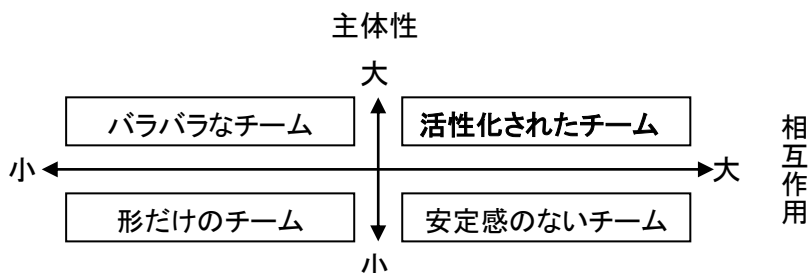
(1) 機動的なチームづくりとその運営を行うポイント

- ①目的 …メンバーと共有できているか
- ②役割 …みんなで適切に貢献度合いを分担しているか
- ③連携 …ひとり(一か所)で抱え込んでいないか
- ④時間 …量(配分と締切り)と質(優先順位)を意識しているか
- ⑤品質 …仕上がりを意識しているか
- ⑥情報 …お互いに幅広く収集する努力をしているか
- ⑦環境 …周囲の変化を意識しているか
- ⑧距離 …一次情報との接点はあるか

【ご参考】「チーム」の3つの要素

- ①共通の枠組み …目的の共有
- ②協働(共働)する意欲 …いっしょにやろうという気持ち
【ひとりでやらない／ひとりでさせない／ひとりにさせない】
(+場に対する貢献意欲)
- ③意思や行動の調整 …コミュニケーション

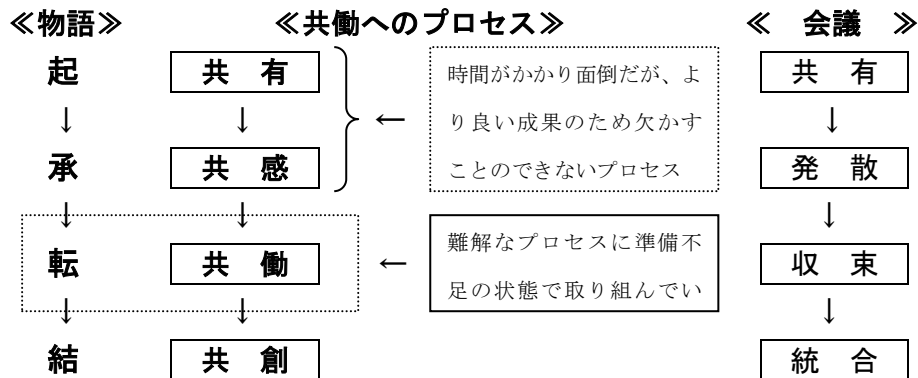
【図1】活性化されたチーム (出典: 堀公俊・加藤彰・加留部貴行『チーム・ビルディング』)



(2) 「共働」は「ストーリーづくり」

- ・「共働」は起承転結の「転」にすぎない

【図2】共働へのストーリーと会議【加留部作成】



◎協働(共働)は3点セット

「 × 」 「 × 」 「 × 」

(3) 研修を通じたチームづくり

出典『生活困窮者自立相談支援事業における都道府県研修実施のための手引き』
(みずほ情報総研株式会社／2017年)

①研修を実施することが目的ではない

→研修という手段を通じて何をめざすのかを考える

②研修は単なる事務仕事ではない

→研修は人と組織を成長に導く大切な存在である

◎研修プログラム企画を通じたコミュニティづくり

- ・研修企画チームをつくる
- ・研修企画の情報交換の場をつくる
- ・研修実施の協力者を募る

【ご参考】社会関係資本(ソーシャルキャピタル)の3つの要素

⇒「信頼」、「互酬性の規範」、「ネットワーク」

(4) 「ワールド・カフェ」を通じて見えてくるもの

【ご参考】「ワールド・カフェ」の基本的な進め方

- ① 1グループ4～6人ほどで構成されたテーブルを複数つくる
- ② 進行役から提起される発問についてテーブルで話し合いを進め、そこで話されたこと、感じたこと、気づいたことなどを模造紙に落書きをする
- ③ 20分置きくらいに、ホスト1名を残して、全員席替えをする
- ④ 新しいメンバー同士で先程まで自分がいたテーブルで話し合われていた内容を披露しあう
- ⑤ これを時に数回繰り返し、最後には元のテーブルに戻る

■これを行うことで参加者は「自分の意見」だけでなく、テーブルで話し合わせた「みんなの意見」を背負って、次のテーブルに移るという「受粉」を行っていく。人から聞いた良い意見は、次のテーブルではまるで自分の意見のように話すことができるようになる。

■更に「良い話」と「良い話」が結びついて新しいアイデアも登場し、その新しいアイデアが納得性の高いものであれば、次のテーブルへと持ち込まれる。そして最後には、全員で話し合っているわけではないはずなのに、**良い意見は会場全体の参加者に届き、そしてそれが我がものになる**という事が起きる。

■相互開示的な場こそが、未来の「場づくり」のヒント。
ワールド・カフェには特別な仕掛けがしてあるわけではなく、
「ただ、直接会って話す」という場を提供するだけ。

- 誰もが自分の正義で発言し、誰も、誰かを困らせようなどとは思っていない。
 - ・自分の意見は100あるうちの1つに違いない。
 - ・もしかして相手が正しくて、自分が間違っているかもしれない。
 - ・自分の意見と相手の意見を合わせると、もっと良い意見が生まれるかもしれない。

このような気持ちを持つだけで、相手の話が全く違って聴こえ素直に受け取ることができる

- 人は7人を超えると公式見解を述べて空気を読む。その場で一番権力を持った人に「忌憚の無いご意見を」と言われたところで、本音なんていえる訳ないのは当たり前。6人以下のグループにすることで本音を言い合える環境をつくり、20~30分置きにメンバーを変えることで、良い情報をシェアするこの方法は、独りよがりの意見は淘汰され、本質的で良い話が会場全体に広がっていくという不思議な効果を生み出す。また、どんなに人数が増えようとも6人以下の人数で行うので、1,000人の集まりでもやる事が可能。

(5) 全体振り返り

<p>Keep (続けるべき良い点)</p> 	<p>Try (これからやってみたい点)</p>
<p>Problem (今後改善が必要な問題点)</p> 	

【ご参考図書】

『チーム・ビルディング ~人と人を「つなぐ」技法』(堀公俊・加藤彰・加留部貴行/日本経済新聞出版社/2007年)

『ワールド・カフェをやろう』(香取一昭・大川恒/日本経済新聞出版社/2009年)

『組織・人材開発を促進する 教育研修ファシリテーター』(堀公俊・加留部貴行/日本経済新聞出版社/2010年)

『生活困窮者自立相談支援事業における都道府県研修実施のための手引き』(みずほ情報総研株式会社/2017年)